

放課後児童クラブを視察しました

安心してすごせる「毎日の生活の場」に

「放課後児童クラブ」は、仕事などで保護者が日中いない家庭の児童に、遊びや生活の場を提供する施設です。

福山市には74クラブ(104教室)[※]が開設されていますが、年々増加する利用児童数に対し、大規模化や職員の不足が課題となっています。[※]2017年5月1日現在
日本共産党市議団は8月23日、伊勢丘と道上の2クラブを視察しました。



伊勢丘



↑2階のテラス・窓にもネットが張られています
←1教室に個室の洋式トイレが2カ所あります!



道上

伊勢丘では、8月に新増築された福山市初の2階建て施設を見学。長年要望してきた室内トイレや手洗い場も完備されており、2階には転落防止ネットが張られています。学校内では敷地面積の

確保が難しいため、党市議団は2階建ての検討を求めてきました。安全面に十二分に配慮した運用が求められますが、大規模校に対応するための先進事例となりそうです。

道上は、今年の登録児童数が通常92人・夏休み120人の大規模クラブですが、1教室(98㎡)しかありません。視察当日は60人程度の出席でしたが、教室内は子どもでいっぱいでした。

ゆったりすごせる教室に

国の新基準では、1教室あたりの児童数を「おおむね40人以下」と規定していますが、福山市は基準達成に5年の経過措置をとっています。子どもの安全のためにも、特に71人以上の大規模教室は早急に分離増設しなければなりません。

職員の処遇改善を

夏休みの職員体制は、有資格の放課後児童支援員1人(2人が交代勤務)と補助員3人です。子どもたちと信頼関係を

をきずき適切な指導がされていると感じましたが、事務仕事も多く、大人数の対応は「とにかく大変」とのことです。支援員は、一人ひとりの子どもの人権を尊重し、安全と健やかな成長を守る

大切な役割を持ちます。しかし、定員に達しない年もあるなど、人手不足が深刻です。労働実態の把握や処遇改善をはかり、雇用の確保に取り組みることが必要です。

開設時間の拡大を

土曜日や夏休みの開設は朝8時半からですが、保護者の仕事の都合などで8時には来ている子どももいるそうです。一昨年から夕方は5時まで延長され喜ばれていますが、さらに保護者のニーズに

◆ ◆

市内の放課後児童クラブの利用は毎年200人ペースで増え続けています。今後、6年生までの拡大が進み、さらに必要の増加が見込まれます。子どもたちの「毎日の生活の場」として、公設公営を基本に、より良い放課後児童クラブとなるよう、日本共産党市議団は引き続き力を尽くします。

一般質問や委員会の傍聴にお越しください!

午前10時から	
9月	11日 月
	12日 火
	13日 水
	14日 木
	15日 金
	19日 火
	20日 水
	25日 月
	26日 火
	27日 水
	28日 木
本会議(一般質問)	
常任委員会(総務・民生福祉・文教経済・建設水道)	
予算特別委員会	
議会運営委員会・本会議(午後1時)	
企業会計決算特別委員会	

9月市議会日程

日本共産党 議員団 NEWS

発行 日本共産党福山市議会議員団
広島県福山市霞町3-4-25 401
電話・FAX 084-92227815

村井あけみ 高木たけし
土屋ともり 河村ひろ子